

1. 第2回部会の振り返り
2. 全体構成の再検討
3. 理念・方針・目標の再整理

1. 第2回部会の振り返り

項目	内容
市民目線の計画	<ul style="list-style-type: none">・市民が自分ごととしてとらえられるように。・行政だけでなくみんなでやっていかないといけないということを初めに示していく必要がある。・「循環させて・持続させる」ことが大切。・神戸のプレーヤーたちを後押しできる計画になるとよい。・人の一生にとって、緑がどのような場面で恩恵を受けているのかが示せるとよい。・（緑について）そもそも知らないという人が多い、市民の人が知る・学ぶということが大事。・市民の人たちが自分たちの動きや役割をイメージできるものがほしい。
目標の考え方	<ul style="list-style-type: none">・空間時間という概念が重要。・具体的な目標を示せば、市民の人も理解すると思う。・神戸らしい緑の再生の在り方が示せるとよい。・ずっと変わらない目標と変わっていく目標があると思う。
取入れる視点	<ul style="list-style-type: none">・里山の視点・マネジメントの視点・民間の空間の緑化・企業への働きかけ・資源循環・市街化調整区域の緑と市街化区域の緑の性質の違い・集中豪雨などに対する雨水貯留・海の中の緑
その他	<ul style="list-style-type: none">・「緑」と「みどり」の使い分け

1. 第2回部会の振り返り

項目	内容
市民目線の計画	<ul style="list-style-type: none">・市民が自分ごととしてとらえられるように。・行政だけでなくみんなでやっていかないといけないということを初めに示していく必要がある。・「循環させて・持続させる」ことが大切。・神戸のプレーヤーたちを後押しできる計画になるとよい。・人の一生にとって、緑がどのような場面で恩恵を受けているのかが示せるとよい。・（緑について）そもそも知らないという人が多い、市民の人が知る・学ぶということが大事。・市民の人たちが自分たちの動きや役割をイメージできるものがほしい。 <p>▶ 市民目線の計画となるよう構成を再検討</p>
目標の考え方	<ul style="list-style-type: none">・空間時間という概念が重要。・具体的な目標を示せば、市民の人も理解すると思う。・神戸らしい緑の再生の在り方が示せるとよい。・ずっと変わらない目標と変わっていく目標があると思う。 <p>▶ 理念、方針、目標の再整理</p>
取入れる視点	<ul style="list-style-type: none">・里山の視点・マネジメントの視点・民間の空間の緑化・企業への働きかけ・資源循環・市街化調整区域の緑と市街化区域の緑の性質の違い・集中豪雨などに対する雨水貯留・海の中の緑 <p>▶ 個別施策へ反映</p>
その他	<ul style="list-style-type: none">・「緑」と「みどり」の使い分け <p>▶ 表現は「緑」に統一</p>

2.市民目線となるような全体構成の再検討

市民 アクション 編

- ✓ 市民の人が緑に関わるきっかけとなるパンフレット
- ✓ 神戸の緑の入口的な役割

主な対象者

- 神戸の緑をよく知らない人
- あまり緑に詳しくない人
- 今まで緑に触れる機会がなかった人

本編

- ✓ 目的や目標、神戸市がやっていくべきことなどを記載
- ✓ あまり緑について知らない人でも読みやすい内容とする

主な対象者

- 神戸の緑に興味がある人
- 詳しく知ってみたい人
- 神戸の緑の取組に興味がある人

実践編

- ✓ 本編の詳細版
- ✓ 具体的な施策など、実践していく内容を載せる

主な対象者

- もっと詳しく知りたい人
- 神戸市の具体的な施策を知りたい人
- 神戸市の緑について勉強したい人

2.次期緑の基本計画の構成

1. はじめに
2. 緑の効果と課題
3. 計画の基本理念・方針
4. 目標
5. 施策
6. 検証・評価と反映 など

3.理念・方針・目標の再整理

神戸市の緑のあるべき姿



- ・ 3つの緑の効果が適切に作用している。
- ・ さらに、世界的、全国的に緑の大切さが再認識されている。

しかし、



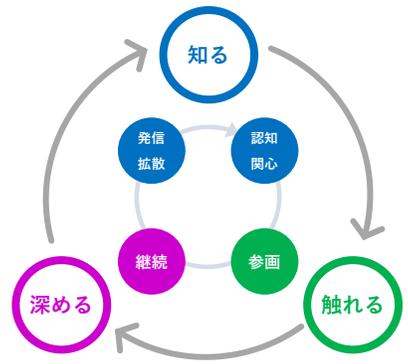
様々な課題があり、それぞれの効果が十分に発揮されていない

そこで、



神戸が50年、100年後も緑が豊かな都市であり続けるために、
「緑とともに生き続ける都市＝緑生都市」
 を目指す

そのためには、
緑と人との関わりが大切であるため、
 「人」に焦点を当てて、
 3つの方針を軸に市民・市民団体・企業など**様々な人が緑に関わり続けること**のできるような**取組**を進めていく。



そのために、



それぞれで目指すべき姿（目標）を設定

- 知る (Know):** | 機会の増加 | みんなが緑博士に
- 触れる (Touch):** | 関係人口の増加 | みんなで緑を育む神戸に
- 深める (Deepen):** | 緑の新たな役割・質の向上 | 緑と生きてより良い社会に
- 機会 (Opportunity):** | 機会の増加 | ・ ・ ・ 行政 みんなが緑博士に ・ ・ ・ 市民

3.理念・方針・目標の再整理 | 方針

方針

緑に関心がない人～緑の専門家まで、すべての人が神戸の緑に関わり続ける

	 個人ができること	 地域団体が できること	 企業が できること	 行政が やっていくこと
 知る	緑に興味をもつ ・人に聞いてみる ・関連する本を読んでみる ・SNSで情報を得る など	緑の知識を得る ・情報を得る ・みんなで話し合ってみる など	緑に関する知識を共有する ・社内で環境教育を実施する ・セミナーへ参加する ・緑のイベントのスポンサーになる など	積極的な情報発信をする ・神戸の魅力発信 ・プロモーション ・緑とふれあう環境づくり など
 触れる	緑に関連する場所に行ってみる／緑に触れてみる ・公園に行く ・イベントに参加する ・植物を家に飾る など	緑に関連する場所に行ってみる／緑に触れてみる ・地域の公園でイベントをする ・公園や緑地の管理に参加する ・地域の緑化・里山活動に参加する など	社内で緑に触れてみる ・オフィスに観葉植物を置く ・地域の緑化活動へ参加する ・社員向けの自然体験イベント など	ハード・ソフト両面において安全で魅力ある緑空間をつくる ・“できること”が多い公園づくり ・まちの緑化（高質化・魅力化） ・魅力的な公園や広場の整備 など
 深める	緑に関わり続ける／広める ・人に教える ・専門知識を学ぶ ・公園の管理に参加する など	緑に関わり続ける／広める ・緑に関するセミナーを開く ・緑化活動の計画を立てる ・他の緑関連の団体と交流する など	地域の緑化や保全に貢献する ・社内で屋上緑化、壁面緑化を実施する ・緑化関連の寄付をする ・カーボンクレジットの導入 など	各々が自ら行動できる仕組みを提供する ・森林、里山などの自然空間の再生 ・新たな担い手の枠組みを創出 ・カーボンクレジットの設定 など

継続していく

各施策へ展開

3.理念・方針・目標の再整理 | 目標の設定

神戸市の緑のあるべき姿



- ・ 3つの緑の効果が適切に作用している。
- ・ さらに、世界的、全国的に緑の大切さが再認識されている。

しかし、

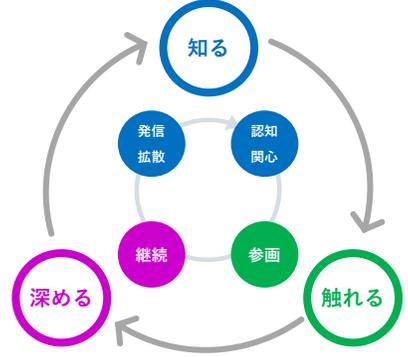


様々な課題があり、それぞれの効果が十分に発揮されていない

そこで、

神戸が50年、100年後も緑が豊かな都市であり続けるために、
「緑とともに生き続ける都市＝緑生都市」
 を目指す

そのためには、
緑と人との関わりが大切であるため、
 「人」に焦点を当てて、
 3つの方針を軸に市民・市民団体・企業など**様々な人が緑に関わり続けること**のできるような**取組**を進めていく。



そのために、

それぞれで目指すべき姿（目標）を設定

- 知る** ▶ | 機会の増加 | みんなが緑博士に
- 触れる** ▶ | 関係人口の増加 | みんなで緑を育む神戸に
- 深める** ▶ | 緑の新たな役割・質の向上 | 緑と生きてより良い社会に
- ▶ | 機会の増加 | ……行政 みんなが緑博士に ……市民

3.理念・方針・目標の再整理 | 目標の設定

神戸市がやるべきこと (アウトプット)

目指すもの (アウトカム)

「知る」の目標

①情報発信

- 施策例
- 緑に関する情報発信
 - 地域コミュニティによる身近な緑化活動の推進 など

| 機会の増加 | みんなが緑博士に

- SNSインプレッション数の増加
- 満足を感じる市民割合の増加
- 緑の知識を有した市民の増加

「触れる」の目標

②ハード・ソフトの充実

- 施策例
- まちのにぎわいを創出する核となる公園づくり
 - 森林保全・育成の強化
 - 民間活力導入の推進 など

| 関係人口の増加 | みんなで緑を育む神戸に

- [市民の関わりがある公園]の増加
- 様々な年代・主体による緑への関わりの増加
[企業・団体・個人等]

「深める」の目標

①や②を自ら実践できる 仕組みを提供

- 施策例
- 社会課題を解決する機会や場の提供
(脱炭素・フレイル予防など)
 - 専門的な人材の育成の場の提供 など

| 緑の新たな役割・質の向上 | 緑と生きてより良い社会に

- 健康率の増加
- 樹冠被覆率・緑被率の増加

公園

市民(個人・地域団体)版
：スパイラルアップ例

知る
公園の維持管理について大学で学ぶ



触れる
公園の管理活動に参加する



深める
公園の管理のあり方を地域のみんなで考える



知る
近くの公園でイベントが開催されることを知る



触れる
公園のイベントに立ち寄る



深める
公園で過ごした写真をSNSに投稿する



知る
家の近くに公園があることを知る



触れる
近くの公園に連れて行ってもらう



深める
友達を誘って公園に遊びに行く



大学生

中学生～
高校生

小学生

森林

市民(個人・地域団体)版
：スパイラルアップ例

知る
セミナーで森づくり活動の団体の存在を知る



触れる
森づくり活動に参加する



深める
森づくり活動の成果を発表する



知る
テレビで森の生態系について知る



触れる
六甲山で野生の動植物を観察する



深める
部活動で生態系の保全について話し合う



知る
図鑑で虫の名前を知る



触れる
おじいちゃん家の裏山で虫取りをする



深める
近くの森にまた遊びに来る



市民(個人・地域団体)版 ：スパイラルアップ例

知る
緑と環境について
学校で学ぶ



触れる
森づくり活動
に参加する



深める
緑と関わり
続けていく



触れる
緑に関するイベント
に参加する



深める
SNSで
神戸の緑を
発信する



知る
本や図鑑で
緑について知る



触れる
近くの公園に
散歩に行ってみる



深める
公園に遊びに
友達を誘う



市民版：他の知る・触れる・深める要素

知る
環境に関するセミナーを
視聴する



触れる
市民農園で
野菜づくり



深める
公園のルール
を地域のみん
なで考える



深める(触れる?)
公園の管理活動に
参加する



知る
テレビで緑に関する
豆知識を身につける



触れる
休日に六甲山で
ハイキングをする



知る
神戸で行きたい公園を
見つける



触れる
家の前の花壇
のお世話をする



深める
お気に入りの公園に
また遊びに来る



企業版：スパイラルアップ例



企業版：他の知る・触れる・深める要素

